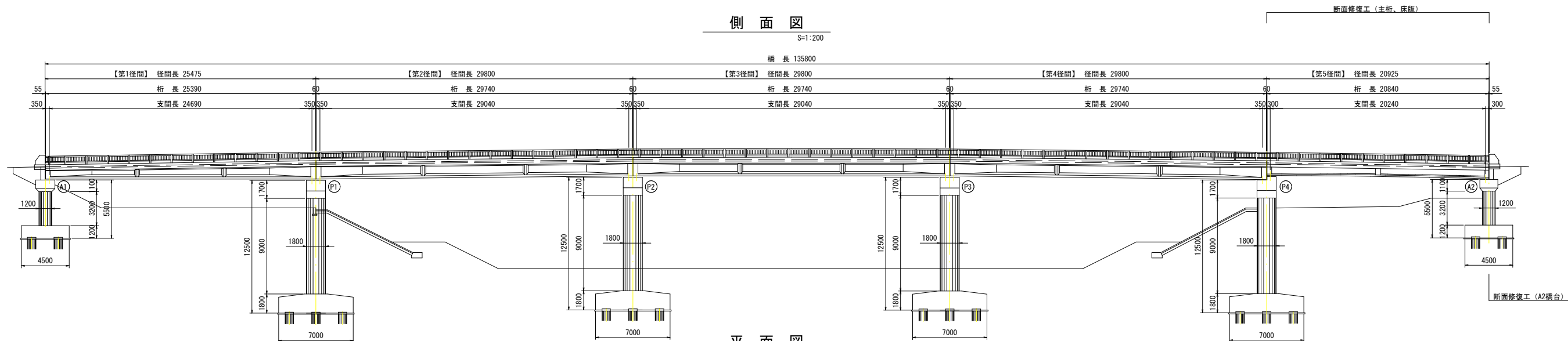


豊田橋 修繕工一般図

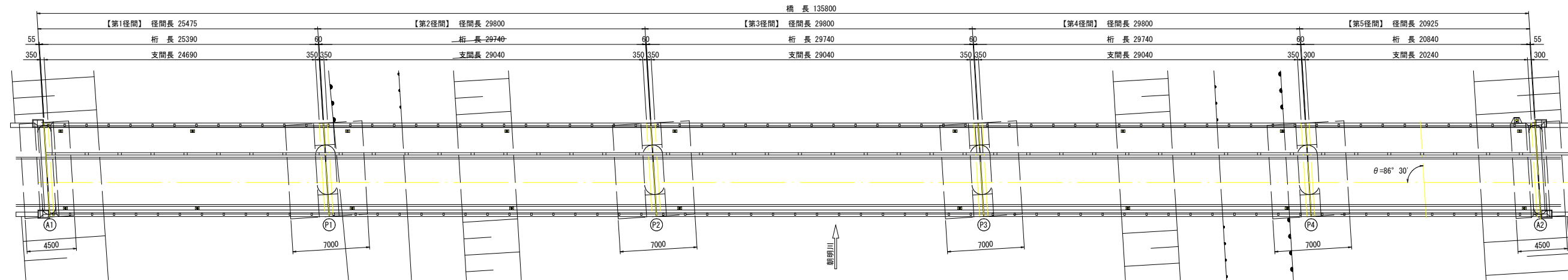
側面図

S=1:200



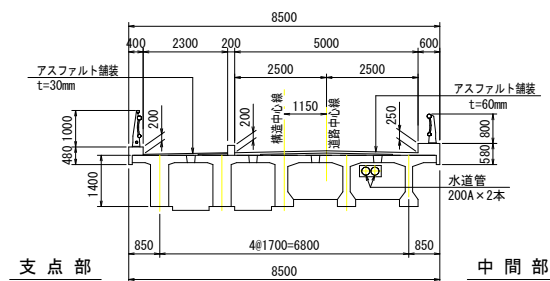
平面図

S=1:200



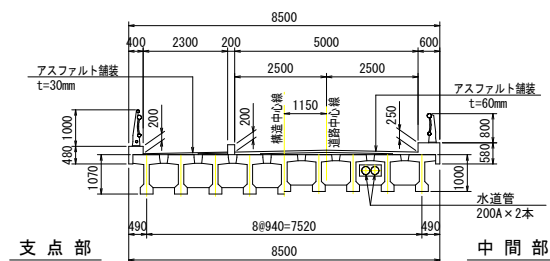
断面図

(A1~P4) S=1:100



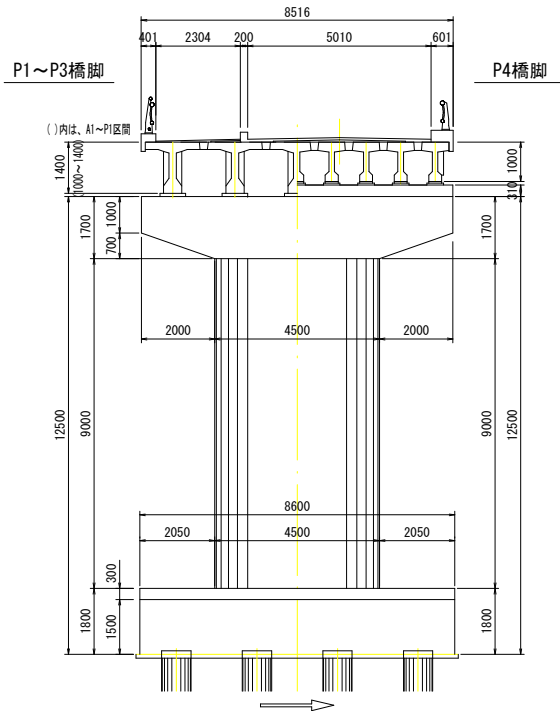
断面図

(P4~A2) S=1:100



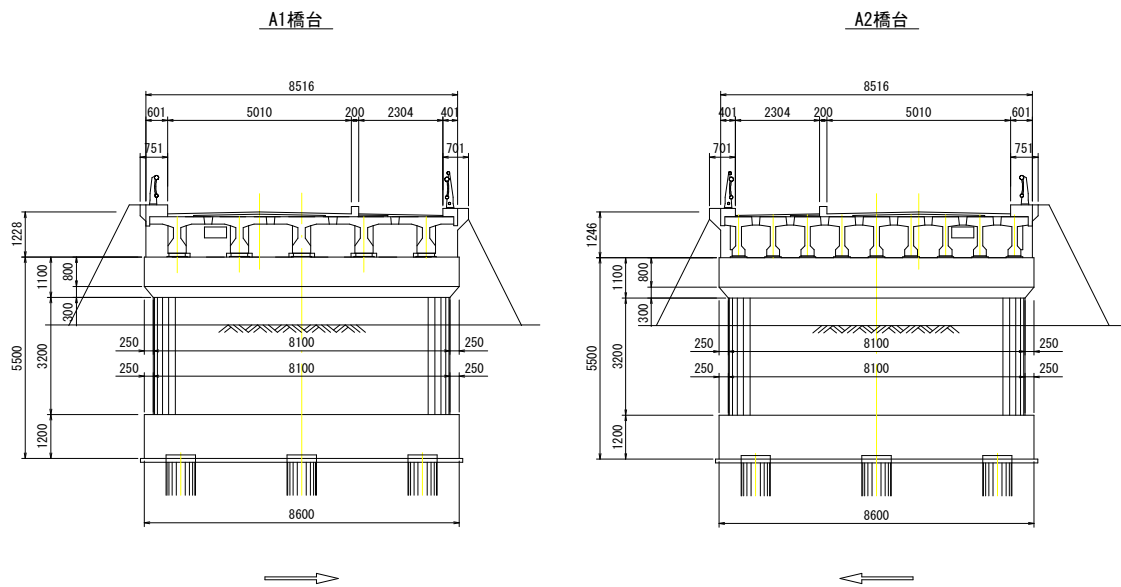
橋脚正面図

S=1:100



橋台正面図

S=1:100



設計条件

上部工形式	A1~P4:ポストテンション方式 単純PCT桁橋 P4~A2:プレテンション方式 単純PCT桁橋
荷重	TL-20
橋長	135.800m
桁長	25.390m+3@29.740m+20.840m
支間長	24.690m+3@29.040m+20.240m
全幅員	8.500m
有効幅員	(車)5.000m+(歩)2.300m
斜角	右86° 30'
桁高	A1~P4:H=1400 P4~A2:H=1000
舗装	アスファルト舗装 t=60mm
支承	ゴム支承
橋台	ピアバット式
橋脚	張出し式
基礎	杭基礎

工事名

豊田橋修繕工事

図面名

修繕工一般図

年月日

尺度 図示 図面番号 1

会社名

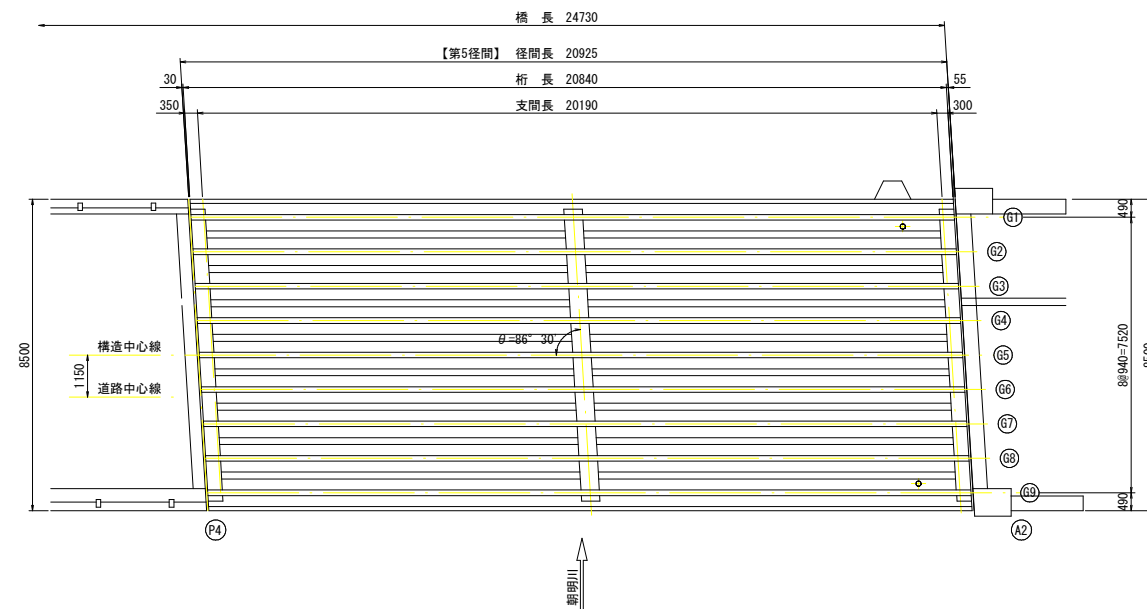
発注者名 川越町

修繕工詳細図(1)

平面图

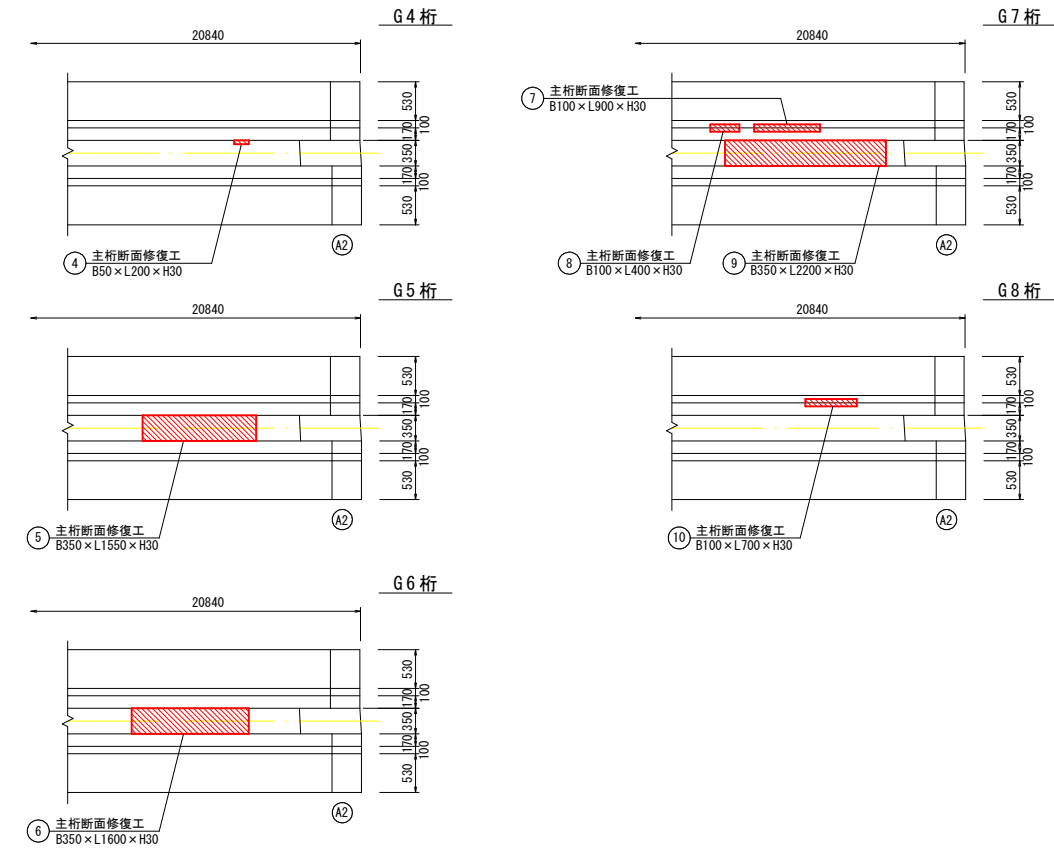
S=1:100

下面



主桁展開図

S=1:50



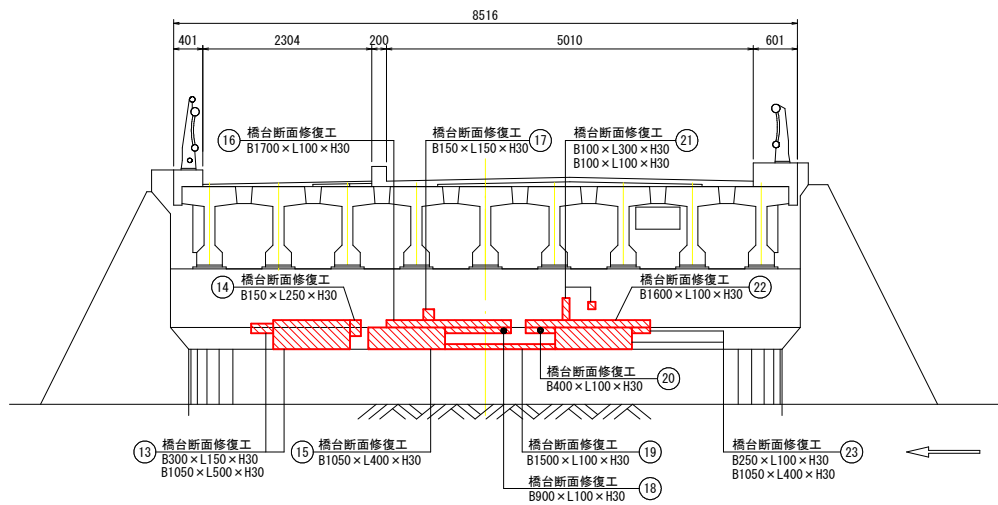
工 事 名	豊田橋修繕工事		
図 面 名	修 繕 工 詳 細 図 (1)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	2
会 社 名			
発注者名	川 越 町		

注記 1): 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
 2): 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

豊田橋 修繕工一般図(2)

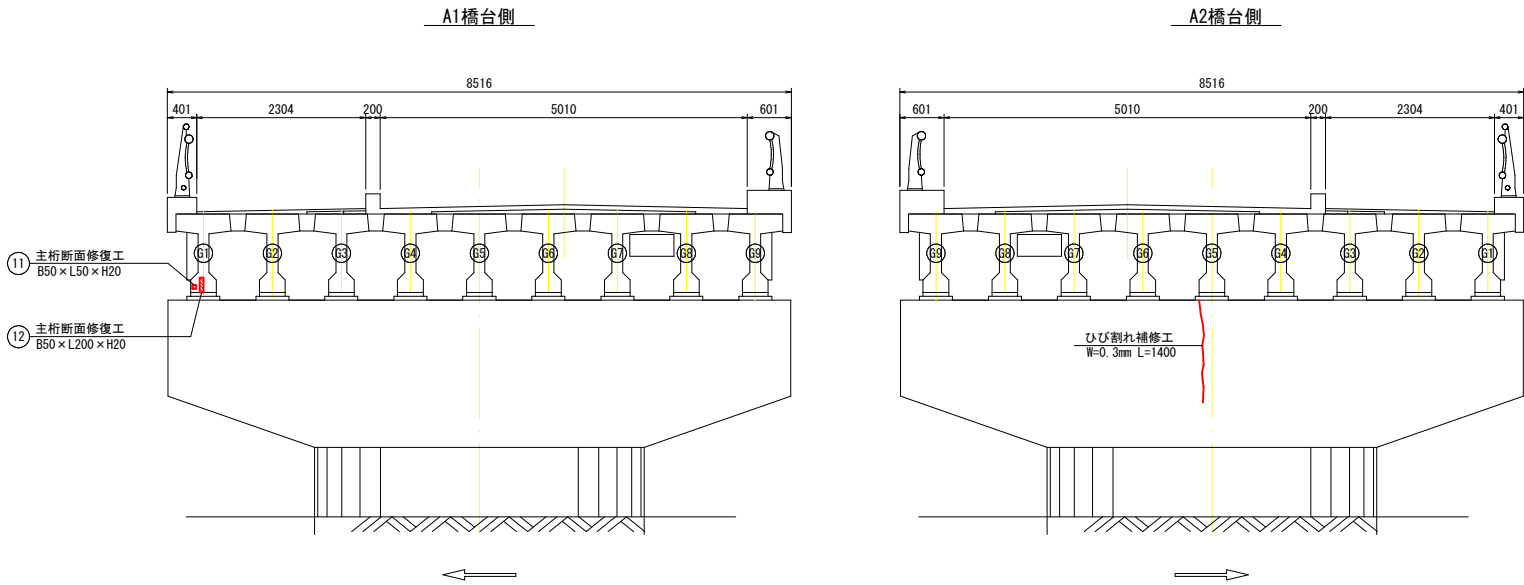
A2橋台正面図

S=1:50

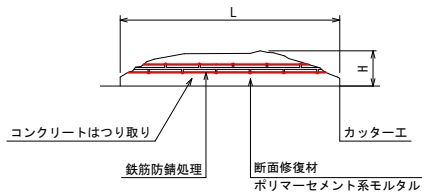


P4橋脚正面図

S=1:50

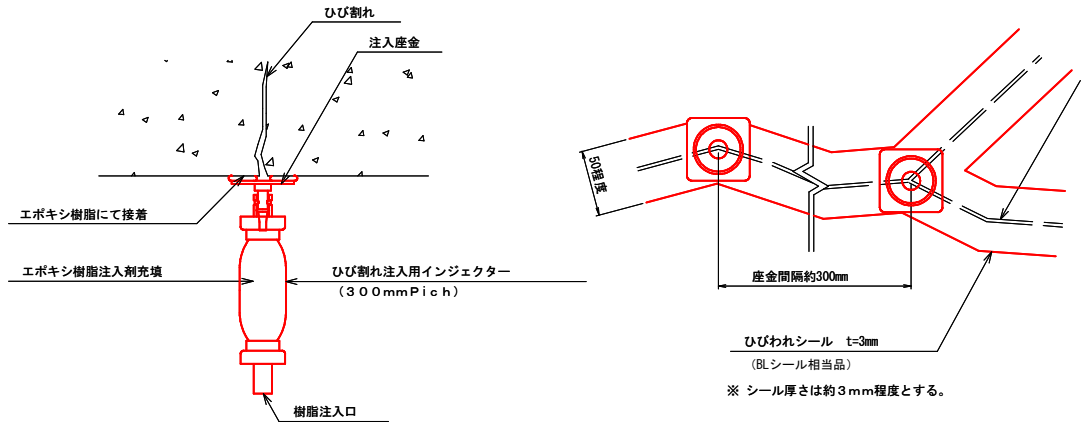


断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については修復箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
※ 断面損傷部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

ひび割れ補修詳細図



- ※ ひび割れ部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

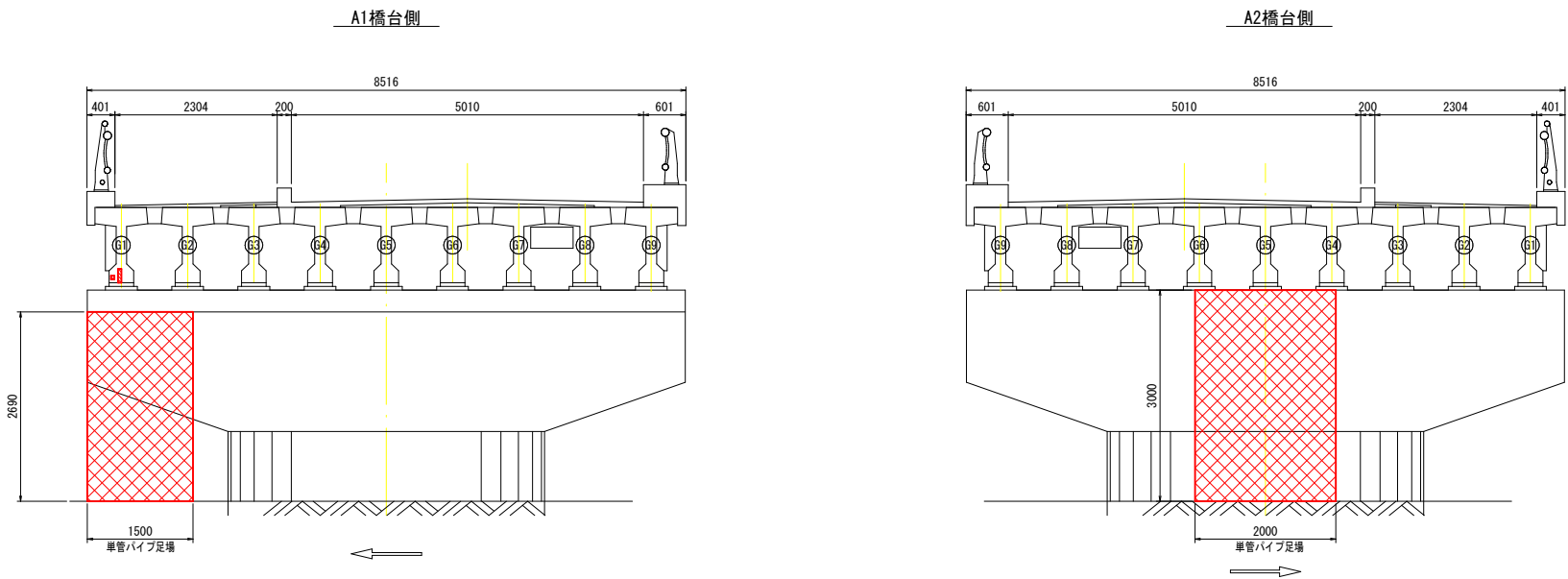
注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

工事名	豊田橋修繕工事		
図面名	修繕工一般図(2)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	3
会社名			
発注者名	川越町		

仮設足場工 参考図

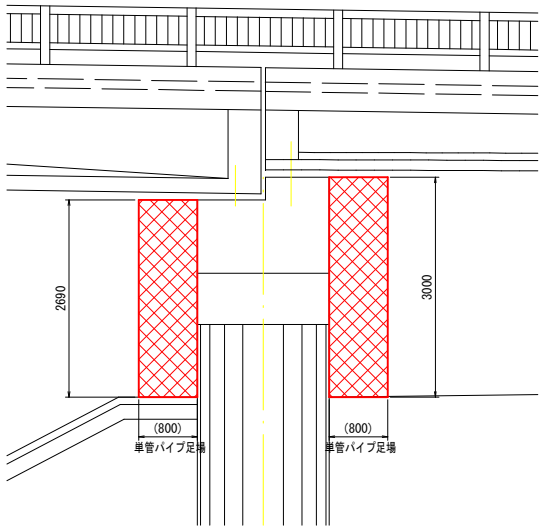
P4 橋脚正面図

S=1:50



P4 橋脚側面図

S=1:50



工 事 名	豊田橋修繕工事		
図 面 名	仮設足場工 参考図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	4
会 社 名			
発注者名	川 越 町		